

会 議 録

会議等の名称	令和４年度第１回東御市青少年健全育成審議会	開催日時	令和４年６月30日（金） 午後7時00分から8時15分
		場 所	中央公民館 講義室
主催者(事務局)	教育委員会 教育課 青少年教育係	司会者	清水課長、荻原会長（議事進行）
出席者	【審議会委員】 会 長：荻原慎一郎 副会長：上原真美 審議会委員：芦田高英、横山榮二、池田和生、檜原みち代、荻原美和子 辰野哲男、井出広美、勝見藤一、藤原慎吾 計11名 【事務局】 教育長：小山教育長 教育次長：柳沢次長 審議会庶務：清水課長、重田係長、上野主任、小菅専門指導員		
欠席者	—		

会議事項	(議題)	(配布資料)
	(１) 第２次東御市青少年健全育成計画の令和３年度の取組状況について	別紙
	(２) 第３次東御市青少年健全育成計画策定について	別紙
	(３) 放課後子ども教室推進事業「げんき塾」について	
	(４) 子ども・家庭支援室の状況について	
決定事項 (要点を簡条書き)	・会長、会長代理の選出	
	会長：荻原慎一郎、会長代理：上原真美	
	・今後のスケジュールについて	
	東御市全体で推進している、第２次東御市総合計画は令和５年度（2023年）まで計画され、	
	令和６年度（2024年）から第３次東御市総合計画が策定される。	
	これに合わせ、第３次東御市青少年健全育成計画を当初計画から１年間延長させて、令和６年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）で計画する。	
次回の検討事項	第３次東御市青少年健全育成計画の方針案及びアンケート案について	

討議内容及び経過	発言者名	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	課長	開会
2 委嘱書交付 あいさつ	市長	花岡市長から委嘱書交付。
		花岡市長からあいさつ。
3 自己紹介	全員	出席委員、事務局の自己紹介。
4 青少年健全育成審議会について 説明	事務局	会議資料３ページの内容をもとに、審議会の役割、内容を説明。

5 会長選出	事務局	「青少年健全育成条例施行規則第9条」により、委員の皆様の互選により、会長を選出していただきたい。
	審議会委員	荻原慎一郎委員に会長をお願いしたい。
	事務局	荻原慎一郎委員を会長をお願いしてよろしいでしょうか。
	審議会委員	全員が拍手で賛同。
	会長	荻原会長より就任のあいさつ。 会長代行については青少年健全育成条例施行規則より「会長が指名する」より、上原真美委員に会長代行をお願いしたい。
	会長代行	上原会長代行より就任のあいさつ。
6 協議事項	会長	(1) 「第2次東御市青少年健全育成計画の令和3年度の取組状況について」、事務局から説明をお願いします。
	事務局	会議資料4～5ページ、第2次東御市青少年健全育成計画の取組状況表をもとに、第2次東御市青少年健全育成計画の令和3年度の取組状況について、青少年健全育成関係団体の活動内容について説明。 3年目となるコロナ禍において、青少年育成市民会議総会・子ども会育成連絡協議会総会・子どもフェスティバル・親子自然ふれ合い学校・ネットリテラシー講演会等が開催できない状況の説明。取組み状況のK P I 値による評価結果の説明。
	教育長	施策の指標である、「家庭の日」「青少年の日」の認知度が低い。学校を通してPRしていただき、この機会を利用して家族と語らせる場作りが大切。
	会長	(2) 「第3次東御市青少年健全育成計画策定について」、事務局の説明をお願いします。
	事務局	6ページ、第3次東御市青少年健全育成計画、及びスケジュールについて説明。 本来、本年度に第3次東御市青少年健全育成計画を策定して、市長への答申後、令和5年の4月に発行する予定で推進していた。しかし、東御市全体で推進している、第2次東御市総合計画は令和5年度(2023年)まで計画され、第3次東御市総合計画は令和6年度(2024年)から施行される中、これに合わせることで、上位計画との整合性が図られるため、これに合わせたい。この点について協議をお願いします。
		アンケートについては2次東御市青少年健全育成計画をベースとしたデータのリニューアル、K P I の見直し、不登校や貧困対策、青少年に係わるSDG s 項目の精査を行い、小6、中2、高2程度、小6・中2の保護者、育成団体、地域の方を対象とし、ネットを利用したアンケートにする。
	事務局	補足説明として、第3次東御市総合計画は令和6年度(2024年)から施行される事に連動させる点と、長野県子ども・若者支援総合計画が令和5年度(2023年)から施行され、この動きを東御市に水平展開させる点を合わせて考え、第3次東御市青少年健全育成計画を令和6年度(2024年)から施行したい。
	教育長	第3次東御市青少年健全育成計画を令和6年度(2024年)から施行することについては理解できた。1年間遅らせた分、アンケート内容については精査していただきたい。 貧困、不登校、ヤングケアラーなどはプライベートな部分がある。表現方法など注意が必要。どのようにアプローチするか民生児童員などに相談も必要。
	会長	計画策定を1年送るが、準備は万全にしてください。アンケートの質問は時間をかけて考える。

	審議会委員	現場は、今対応が必要とする人がいます。1年も待ってられないので色々な対応は早くしていただきたい。
	会長	(3)「放課後子ども教室推進事業「げんき塾」について」、事務局の説明をお願いします。
	事務局	7～8ページ、放課後子ども教室推進事業「げんき塾」について 令和元年より教育委員会が主導で活動し始めて、今年度からは運営に関しては、一般社団法人SanyTOMIが担当していただく運びとなりました。これに伴ない、活動回数を昨年の2倍の各小学校4回で合計20回となります。運営のサポートとして、東御清翔高校生が何回か加わり、お手伝いしていただけます。 本年度市の重点事業として、取組んでいます。 年齢の近い東御清翔高校生は子ども達との遊び相手に適している。そして子ども相手に高校生が指導することにより、高校生のリーダー資質が培われ、子どもや高校生がお互いにWinWinの関係になれ、素晴らしい活動と感じられる。
	教育長	げんき塾について学校で子ども自ら発信して、参加していただきたい。目立たない子どもを引き出す機会にしたい。発表から自信につながり、遊びを通して多くのリーダーを育てたい。
	会長	以上で協議事項は全て終了しました。皆様のご協力によりまして、協議を円滑に進めることができました。ありがとうございました。
7 その他	課長	前回の会議で子ども・家庭支援室について準備段階の説明がありました子ども・家庭支援室の状況について、教育長より説明していただきます。
	教育長	4課が一緒になり発足した子どもサポートセンター。一人一人の状況をカード(家庭要因、発達特性、学力不振)にして不登校対策に役立てる。色々な場面よりアプローチをしている(くるme、サポートセンター等)、専門家が集まり協議する。現時点での取組みにより欠席数は半分程度になっている。今後も心配な子ども・家庭について一報をお願いしたい。
8 閉会	課長	閉会